

新興国レポート

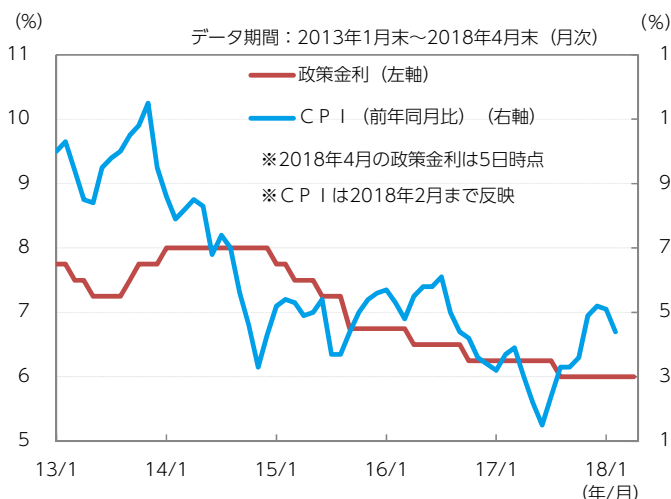
インド政策金利6%で据え置き

4会合連続据え置きと共に2018年上半期の物価見通しを引き下げ

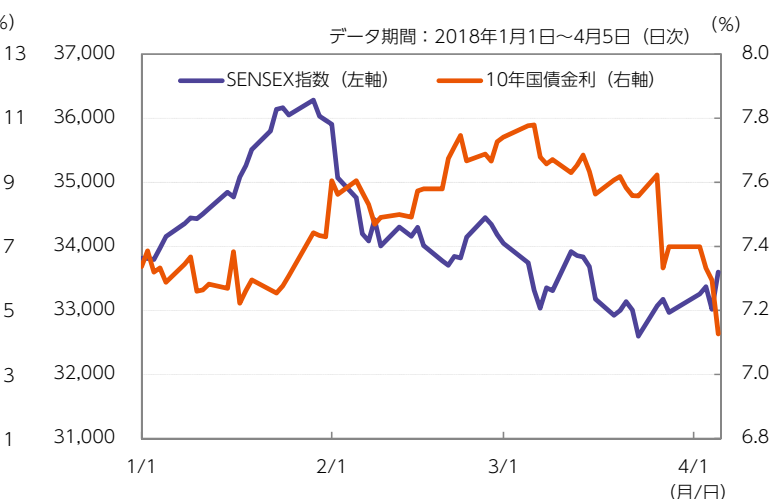
- ▶ インド準備銀行（RBI）は4会合連続で政策金利を6.0%に据え置くことを決めた。また、2018年度上半期の物価見通しを下方修正した。同修正等を背景に、インド10年国債金利は約4ヵ月ぶりの水準まで低下。
- ▶ RBIは景気回復をより確実なものとするため、次回会合でも政策金利を据え置くものと思われる。

- インド準備銀行（中央銀行、RBI）は4月5日の金融政策決定会合において、政策金利であるレポレートを4会合連続で6.0%に据え置くことを決めました（図表1）。金融政策メンバー6人のうち、5人が据え置きを支持、1人が0.25%の利上げを主張しました。RBIは、原油高や公務員の家賃手当の上昇、アメリカと中国の貿易摩擦等でインフレが進む懸念もあるが、消費者物価（CPI）構成要素の約半数を占める食料品・飲料価格は抑制された状態が続くとし、金融政策スタンスは引き続き中立的であるとしました。また、同会合では、2018年度上半期（2018年4月～9月）のCPI見通しを、食料品価格上昇率の見直し等を踏まえ、前回（2018年2月）の5.1～5.6%から4.7～5.1%に下方修正しました。
- インド経済は、2016年11月の高額紙幣廃止による個人消費の減速や2017年7月のGST（財・サービス税）導入を前にした企業活動の落ち込み等により、2017年4～6月期の実質GDP（国内総生産）成長率（前年同期比）がモディ政権誕生後では初めて6%割れとなる等、一時停滞色を強めました。RBIは景気刺激等を目的に2017年8月に政策金利を7年ぶりの低い水準となる6%に引き下げました。その低金利政策の効果やモディノミクスの進展等を背景に、2017年10～12月の実質GDP成長率（同）が7.2%まで上昇する等、足元のインド経済は回復の兆しを強めつつあります。昨年12月にRBIの目標値である4%を上回り、5.2%まで上昇していたCPI（前年同月比）は今年2月には4.4%に低下しています（図表1）。RBIは経済回復をより確実なものとするため、次回会合（6月6日）でも政策金利を据え置くものと思われます。
- 当日（4月5日）のインド株式（SENSEX指数）は前日比1.7%上昇しました。主な要因は米中貿易摩擦の緩和観測であり、政策金利の据置きは大方の予想通りであったことから、その影響は限定的であったと見られています。一方、インド10年国債金利は、2018年度上半期のCPI見通しが下方修正されたことを材料視し、昨年12月中旬頃の水準まで低下（価格は上昇）しました（図表2）。

図表1：インド政策金利とCPI（前年同月比）



図表2：SENSEX指数と10年国債金利



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>